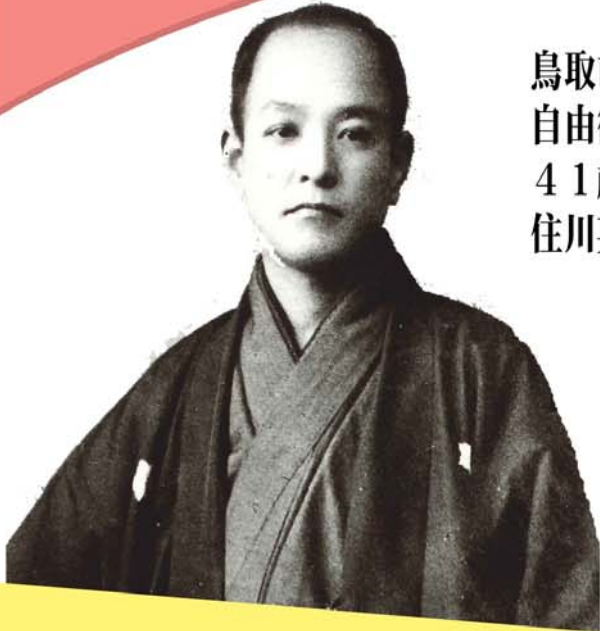


鳥取県立図書館所蔵資料展

書で味わう放哉



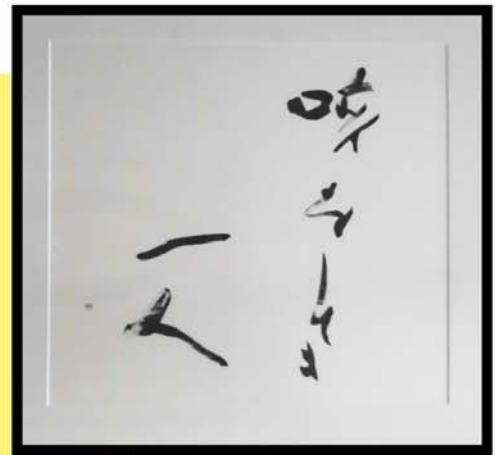
鳥取市に生まれた尾崎放哉（1885～1926）は自由律俳句の最も著名な俳人のひとりです。41歳で波乱の生涯を終えた放哉は多くの俳句を残しています。住川英明氏の書で、放哉の俳句の世界をお楽しみください。

展示作品（6句）

「佛にひまをもらって洗濯してゐる」
「わがからだ焚火にうらおもてあぶる」
「久しぶりの雨の雨だれの音」
「咳をしても一人」
「汽車が走る山火事」
「渚白い足出し」

住川英明

1957年 新潟県生まれ。現在、鳥取大学地域学部地域学科教授。
第41回、第42回書道学会展（財団法人日本書道教育学会主催）で文部大臣奨励賞受賞。
著書に『書の基本資料16 創作と表装』（共著 中教出版 1992）などがある。
「住川英明1993/1997書展」（1998 岡山市、鳥取市）、
「放哉を書く・放哉を観る」（2005 鳥取市）など、個展・グループ展を開催。



咳をしても一人 住川英明

会期 平成31年4月2日（火）～4月29日（月）

会場 鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室

開館時間は午前9時～午後6時30分（土・日・祝日は午後5時まで）
会期中の休館日は4月11日（木）

主催・問合せ先 鳥取県立図書館 郷土資料室

〒680-0017 鳥取市尚徳町101 電話 0857-26-8155 ファクシミリ 0857-22-2996
メール toshokan@pref.tottori.lg.jp